

企画政策室

一般会計要求総額 1,142百万円
(対前年度予算 1.5%)

〔要求に当たっての基本的考え方〕

- 1 本市の将来のまちづくりの指針として、市民と行政の協働により新・基本構想を策定する。
- 2 本市のイメージと市民の自信を回復し、市外からの人やモノの流れを促進するため、魅力的な都市ブランドを創造し、シティプロモーションを積極的に行う。

市民との協働による 計画的なまちづくりの推進

新・北九州市基本構想策定事業

30百万円〔企画政策課〕

都市ブランドの創造と シティプロモーション の促進



ブランド創造・シティプロモーション事業

30百万円〔にぎわいづくり企画課〕

「北九州市集客交流計画」推進事業

7百万円〔にぎわいづくり企画課〕

V I情報誌「雲のうえ」を利用した都市イメージアップ事業

15百万円〔にぎわいづくり企画課〕

市民メセナ美術館支援事業

11百万円〔にぎわいづくり企画課〕

北九州市制45周年 記念事業の実施

市制45周年記念事業

29百万円〔にぎわいづくり企画課〕

アジアのゲートウェイを 目指した国際政策の推進

東アジア（環黄海）経済交流推進機構推進事業

13百万円〔国際政策課〕

中国ビジネス人材育成事業

5百万円〔国際政策課〕

は新規事業 拡充事業

主要事業

新・北九州市基本構想策定事業

本市の基本構想であるルネッサンス構想の策定から20年を経て、社会・経済状況の変化に伴う新たな課題に対応しながら計画的にまちづくりを進めるため、概ね10年先を展望した都市ビジョンである新しい基本構想を、市民と行政の協働により策定する。

ブランド創造・シティプロモーション事業

市民が誇りに思い、共有できる「北九州市ブランド」を創造し、全国に発信する。そして、首都圏における本市ゆかりの経済人などのネットワークを築くとともに、長期的かつ戦略的なシティプロモート計画を策定、展開する。

市制45周年記念事業

市制発足45周年を記念し、「元気発進！北九州」をテーマに各種の記念事業等を実施するとともに、本市の魅力を市内外に発信することでイメージアップを図る。

〔事務事業の見直し等〕

(財) 国際東アジア研究センター補助金

既存事業の見直し等により、平成20年度は市派遣職員の削減を図る。あわせて、外部からの受託事業の拡大に取り組むなどにより、経営体質の抜本的な改善を図ることで、補助金を削減する。